

令和5年度

名取市外国人居住者ニーズ調査
報告書

令和6年2月

名取市なとりの魅力創生課

はじめに

名取市外国人居住者ニーズ調査は、名取市に居住している外国人の皆様の生活実態やニーズを把握することを目的に、市内に居住する18歳以上の外国人の方を対象に、令和5年12月から令和6年1月にかけて実施された調査です。

この報告書は、令和5年度名取市外国人居住者ニーズ調査について、市の外国人の方々の現況について取りまとめたものです。

本報告書が、名取市内の多文化共生推進のための基礎資料として皆様に幅広く活用していただければ幸いです。

調査の実施に当たりましては、ご協力を頂きました外国人の皆様や学校、企業の皆様をはじめ、翻訳にご協力いただいたボランティアの皆様、職員の皆様方に厚く御礼申し上げますと共に、今後ともいっそうのご協力を賜りますようお願いいたします。

令和6年2月

目次

I 調査の概要

(1) 調査の目的	4ページ
(2) 調査対象	4ページ
(3) 調査方法	4ページ
(4) 調査期間	4ページ
(5) 調査言語	4ページ
(6) 調査項目	4ページ
(7) 回収結果	4ページ
(8) 調査結果の見方	4ページ

II 調査結果

1. 基本属性	6ページ
2. 言語	8ページ
3. 情報	10ページ
4. 医療・福祉	11ページ
5. 育児・教育	13ページ
6. 社会生活一般	14ページ
7. 防災	18ページ
8. 行政	20ページ

III アンケート調査票

アンケート調査票(日本語ふりがな付き)	22ページ
---------------------	-------

I 調査の概要

1. 調査の概要

(1) 目的

本市に居住する外国人市民等の生活実態やニーズを把握し、今後の多文化共生施策を推進するための基本資料とする。

(2) 調査対象

- ・名取市に住民登録がある外国人で、18歳以上の人
- ・市外から名取市へ通勤、通学する外国人で18歳以上の人
(市が指定する市内大学や外国人を雇用する企業へ依頼)

(3) 調査方法 郵送による送付・回収

(4) 調査期間 令和5年12月13日～令和6年1月31日

(5) 調査言語 日本語（ふりがな付き）、中国語（簡体字）、韓国語、英語

(6) 調査項目

1 基本属性（6問）	5 育児・教育（4問）
2 言語（4問）	6 社会生活（5問）
3 情報（1問）	7 災害（4問）
4 医療・福祉（5問）	8 行政（3問）
（全32問）	

(7) 回収結果

- ①調査票配布数 532件（市内在住517件、市内在学15件）
- ②回収数 148件（市内在住133件、市内在学15件）

(8) 調査結果の見方

- ①集計は、小数点以下第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100%にならない場合がある。
- ②回答の比率（%）は、その質問の無回答者数を含めた数値を基準として算出している。
また、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- ③設問によっては、調査対象を「名取市民」「18歳未満の子どもがいる人」等としており属性別の調査回答者数の合計が全体の回答者数と一致しない場合がある。
- ④本文や表タイトルの表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合がある。

Ⅱ 調査結果

1. 基本属性

(1) 国籍・地域

国籍の分布をみると「中国」籍者が25.0%、次いで「韓国」籍者が11.5%、以下「フィリピン」8.1%、「ネパール」「インドネシア」が6.8%と続いており、その他では「アメリカ」「モンゴル」籍者が居住している。

平成29年度と比較しても、ほぼ同様の分布となっている。

Q1 あなたの国籍・地域は次のどれですか

国籍	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 ベトナム	7	4.7	1	0.5
2 中国	37	25.0	70	38.3
3 韓国	17	11.5	30	16.4
4 ネパール	10	6.8	-	-
5 フィリピン	12	8.1	8	4.4
6 インドネシア	10	6.8	6	3.3
7 タイ	6	4.1	26	14.2
8 スリランカ	2	1.4	-	-
9 朝鮮	3	2.0	6	3.3
10 カンボジア	1	0.7	-	-
11 ブラジル	5	3.4	-	-
12 カナダ	4	2.7	4	2.2
※その他	33	22.3	32	17.4
無回答	1	0.7	-	-
計	148	100%	183	100%

(2) 性別

性別の分布をみると「女」が53.4%、「男」が43.2%、平成29年度と比較しても同様の割合となっている。

Q2 あなたの性別を教えてください

性別	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 男	64	43.2	75	41
2 女	79	53.4	108	59
3 その他	0	0.0	-	-
無回答	5	3.4	-	-
計	148	100%	183	100%

(3) 年齢

年齢の分布をみると「10代」「20代」「30代」の合計が50%以上となっており、平成29年度と同様、若年層の割合が高い。

Q3 現在、あなたは何歳ですか

年齢	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 ~19歳	2	1.4	1	0.5
2 20歳~29歳	37	25.0	33	18.0
3 30歳~39歳	36	24.3	68	37.2
4 40歳~49歳	26	17.6	36	19.7
5 50歳~59歳	20	13.5	22	12.0
6 60歳~69歳	17	11.5	16	8.7
7 70歳~79歳	8	5.4	5	2.7
8 80歳~	0	0.0	2	1.1
無回答	2	1.4		
計	148	100%	183	100%

(4) 同居人

同居の有無については無回答を除く72.7%が誰かと同居していると回答しており、一人暮らしをしている人は27.0%となっている。分布をみると「夫・妻・パートナー」の割合が最も高く64.9%、次いで「子ども」37.2%となっている。

平成29年度と比較するとほぼ同様の分布だが、「友人・知人」と同居している割合が減少している。

Q4 現在、どなたと同居していますか（複数回答）

同居者	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 夫・妻・パートナー	96	64.9	104	56.8
2 子ども	55	37.2	72	39.3
3 父親・母親	5	3.4	12	6.6
4 祖父母	0	0.0	1	0.5
5 孫	5	3.4	1	0.5
6 その他の親族	3	2.0	2	1.1
7 友人・知人	3	2.0	20	10.9
8 一人暮らし	40	27.0	40	21.9
無回答	1	0.7	4	2.2
計	208	141%	256	140%

(5) 在留資格

在留資格の分布をみると「永住者」が37.8%で最も高く、次いで「日本人の配偶者等」が14.2%、「留学」が10.8%となっている。

平成29年度と比較すると「特別永住者」の割合が減少し「日本人の配偶者等」が増加している。

Q5 あなたの在留資格は次のどれですか

在留資格	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 留学	16	10.8	18	9.8
2 永住者	56	37.8	66	36.1
3 特別永住者	12	8.1	22	12.0
4 家族滞在	5	3.4	8	4.4
5 日本人の配偶者等	21	14.2	21	11.5
6 技能実習	10	6.8	19	10.4
7 教授	0	0.0	0	0.0
8 人文知識・国際業務	7	4.7	3	1.6
9 定住者	3	2.0	3	1.6
10 教育	6	4.1	2	1.1
11 技術	2	1.4	2	1.1
12 研修	0	0.0	13	7.1
13 特定活動	1	0.7	2	1.1
14 その他	5	3.4	3	1.6
無回答	4	2.7	1	0.5
計	148	100%	183	100%

(6) 名取市との関わり

本市との関わりをみると「名取市に住んでいる」が95.3%、以下「市外から通勤・通学」での関わりをもっている。アンケートを依頼した「市外から名取市に通勤・通学している」対象者が少なかったことから2.0%に留まっている。

Q6 現在、あなたは名取市に住んでいますか

関わり	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 名取市に住んでいる	141	95.3	151	82.5
2 市外から名取市に通勤・通学している	3	2.0	24	13.1
3 その他	1	0.7	5	2.7
無回答	3	2.0	3	1.6
計	148	100%	183	100%

言語

(7) 日本語能力

Q7 あなたの日本語力は、次のどれにあたりますか

①話す能力

日本語を話す能力については「十分にできる」と答えた人が47.3%、次いで「だいたいできる」と答えた人が37.2%となっている。

平成29年度と比較すると、「十分にできる」と回答した人の割合が増えている。

a 話すこと	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
十分にできる	70	47.3	64	35.0
だいたいできる	55	37.2	67	36.6
あまりできない	20	13.5	31	16.9
全くできない	2	1.4	15	8.2
無回答	1	0.7	6	3.3
計	148	100%	183	100%

②聞く能力

日本語を聞く能力については、話す能力と同様の分布となっており、「十分にできる」50.0%、次いで「だいたいできる」37.2%となっている。

平成29年度との比較でも、話す能力と同様「十分にできる」と回答した人が増えている。

b 聞くこと	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
十分にできる	74	50.0	62	33.9
だいたいできる	55	37.2	68	37.2
あまりできない	16	10.8	27	14.8
全くできない	2	1.4	13	7.1
無回答	1	0.7	13	7.1
計	148	100%	183	100%

③読む能力

日本語を読む能力については、話す能力とほぼ同様の分布となっており、「十分にできる」37.8%、次いで「だいたいできる」34.5%となっている。

平成29年度との比較でも、話す能力と同様「十分にできる」と回答した人が増えている。

c 読むこと	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
十分にできる	56	37.8	56	30.6
だいたいできる	51	34.5	61	33.3
あまりできない	26	17.6	35	19.1
全くできない	14	9.5	20	10.9
無回答	1	0.7	11	6.0
計	148	100%	183	100%

④書く能力

日本語を書く能力については、「十分にできる」と答えた人が31.1%と最も多いが、次いで「あまりできない」と回答した人が28.4%となっている。

①話す②聞く③読む能力と比較すると、「あまりできない」「全くできない」と回答した割合が多い結果となった。

d 書くこと	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
十分にできる	46	31.1	-	-
だいたいできる	37	25.0	-	-
あまりできない	42	28.4	-	-
全くできない	21	14.2	-	-
無回答	2	1.4	-	-
計	148	100%	-	-

(8) 日本語の必要性

日本語の必要性についての分布をみると、「日常生活のために必要」と考える人が77.7%、次いで「現在の仕事・勉強をしていくために必要」64.9%、「日本人とつきあうために必要」53.4%と、平成29年度の割合とほぼ同様の分布となっている。

Q8 日本語は必要だと思いますか（複数回答）

必要性	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 現在の仕事・勉強をしていくために必要	96	64.9	99	54.1
2 希望する仕事を見つけるために必要	54	36.5	48	26.2
3 日常生活のために必要	115	77.7	117	63.9
4 日本人とつきあうために必要	79	53.4	79	43.2
5 日本に永住するために必要	62	41.9	59	32.2
6 母国語で暮らせるので、必要ない	1	0.7	3	1.6
7 いずれ帰国するので必要ない	2	1.4	5	2.7
8 その他	4	2.7	8	4.4
無回答	1	0.7	-	-
計	414	280%	418	228%

(9) 日本語の学習状況

日本語の学習状況の分布をみると、「勉強している」が38.5%と最も多く、次いで「勉強していないが、できれば勉強したい」が33.1%と平成29年度の割合とほぼ同様の分布となっている。

Q9 現在、あなたは日本語を勉強していますか

日本語の学習状況	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 勉強している	57	38.5	81	44.3
2 勉強していないが、できれば勉強したい	49	33.1	58	31.7
3 勉強していないし、勉強するつもりもない	37	25.0	27	14.8
無回答	5	3.4	17	9.3
計	148	100%	183	100%

(10) 日本語講座の開講希望日時

日本語講座の開講を希望する日時についての意見の分布をみると、無回答を除く「土・日曜日の午前」が19.8%と最も多い。

平成29年度と比較すると、土日に希望する人の割合が増えている。

Q10 日本語講座を開講してほしい日時はありますか（複数回答）

日本語講座の開講希望日時	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 平日の午前	12	11.3	33	18.0
2 平日の午後1時～5時	10	9.4	13	7.1
3 平日の午後5時以降	19	17.9	16	8.7
4 土・日曜日の午前	21	19.8	25	13.7
5 土・日曜日の午後1時～5時	16	15.1	21	11.5
6 土・日曜日の午後5時以降	13	12.3	13	7.1
無回答	42	39.6	81	44.3
計	133	125%	202	110%

情報

(11) 生活に必要な情報の入手方法

生活に必要な情報の入手手段として、多くの人が挙げたのが「携帯電話を使用したインターネット」で66.9%と最も多く、続いて「テレビ」48.6%、「パソコンを使用したインターネット」41.2%、「日本人の友人・知人」40.5%となっている。

平成29年度と比較しても上位4項目は変わらない結果となった。

Q11 あなたは、生活に必要な情報をどこから得ていますか（複数回答）

生活情報の入手方法	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 外国籍住民向け相談窓口 (みやぎ外国人相談センターや市町村窓口等)	10	6.8	11	6.0
2 テレビ	72	48.6	94	51.4
3 ラジオ	10	6.8	20	10.9
4 新聞・雑誌	30	20.3	35	19.1
5 パソコンを使用したインターネット	61	41.2	71	38.8
6 携帯電話を使用したインターネット	99	66.9	93	50.8
7 職場・学校	55	37.2	57	31.1
8 家族	55	37.2	49	26.8
9 日本人の友人・知人	60	40.5	75	41.0
10 母国出身の友人・知人	38	25.7	45	24.6
11 近所の日本人、町内会の回覧	26	17.6	37	20.2
12 ボランティア団体	4	2.7	4	2.2
13 母国の大使館・領事館	11	7.4	11	6.0
14 名取市の広報紙	25	16.9	-	-
15 名取市のホームページ	11	7.4	-	-
16 その他	2	1.4	3	1.6
17 入手する方法がない	5	3.4	0	0.0
無回答	1	0.7	6	3.3
計	575	389%	611	334%

医療・福祉

(12) 保健・医療・介護サービス利用

保健・医療・介護サービス利用経験の分布をみると、「名取市の健康診断」の利用経験のある人の割合が47.3%と最も多く、次いで「名取市内の医療機関」46.6%、「名取市の各種がん検診」26.4%となっており、平成29年度とほぼ同様の分布となっている。

Q12 以下のサービスを利用したことがありますか（複数回答）

利用した医療・福祉サービス	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 名取市の健康診断	70	47.3	62	41.1
2 名取市の各種がん検診	39	26.4	33	21.9
3 名取市の健康相談	9	6.1	6	4.0
4 名取市の「こころの相談」	2	1.4	3	2.0
5 休日・時間外の診療機関	26	17.6	28	18.5
6 外国語で診療可能な医療機関	0	0.0	3	2.0
7 介護保険サービス	1	0.7	7	4.6
8 名取市内の医療機関	69	46.6	56	37.1
9 宮城県の救急電話相談	5	3.4	-	-
無回答	28	18.9	-	-
計	249	168%	198	131%

(13) 病院に関して困ったこと

病院に関して困ったことの分布をみると、60.1%の人が「特に困っていることはない」と回答している一方、「日本語の書類・案内が理解できない」が14.2%、「外国語が通じる病院を利用したいがどこにあるかわからない」12.8%と、平成29年度とほぼ同様の結果となっている。

Q13 あなたが病気になって名取市内の病院に行くときに困ったことはありますか（複数回答）

病院に関して困ったこと	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 外国語が通じる病院を利用したいがどこにあるかわからない	19	12.8	23	15.2
2 休日・夜間に利用できる病院がどこにあるかわからない	17	11.5	16	10.6
3 医師や看護師と言葉が通じない	14	9.5	17	11.3
4 日本語の書類・案内が理解できない	21	14.2	21	13.9
5 とくに困っていることはない	89	60.1	101	66.9
6 その他	11	7.4	4	2.6
無回答	11	7.4		
計	182	123%	182	121%

(14) 救急車の電話番号

日本で救急車を呼ぶときの番号を知っているかどうかの分布をみると、知ってる人の割合が90.5%である一方、知らない人は8.1%という結果となった。

Q14 日本で救急車を呼ぶときの電話番号（119）を知っていますか

救急車を呼ぶときの番号	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 はい	134	90.5	159	86.9
2 いいえ	12	8.1	20	10.9
無回答	2	1.4	4	2.2
計	148	100%	183	100%

(15) 消防車の電話番号

日本で消防車を呼ぶときの番号を知っているかどうかの分布をみると、知ってる人の割合が84.5%である一方、知らない人は13.5%という結果となった。

Q15 日本で消防車を呼ぶときの電話番号（119）を知っていますか

消防車を呼ぶときの番号	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 はい	125	84.5	-	-
2 いいえ	20	13.5	-	-
無回答	3	2.0	-	-
計	148	100%	-	-

(16) 救急車の利用に関して困ったこと

日本で救急車を利用の際に困ったことについては、85.5%の人が「特に困ったことはない」と回答している一方、「場所の説明ができない」と回答した人が7.3%、「救急車を呼んでいいのかが分からない」と回答した人が5.5%となっている。

Q16 名取市で救急車を利用した際、以下のようなことで困ったことはありますか（複数回答）

救急車利用の際困ったこと	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 救急隊員や119番受付者と言葉が通じない	0	0.0	6	9.2
2 救急車を呼んでいいのかが分からない	3	5.5	4	6.2
3 病院へ行く手段・交通が分からない	1	1.8	4	6.2
4 場所の説明ができない	4	7.3	7	10.8
5 とくに困ったことはない	47	85.5	52	80.0
6 その他	0	0.0	2	3.1
計	55	100%	75	116%

育児・教育

(17) 18歳未満の子どもの人数、年齢、在住状況

18歳未満の子どもの人数については、「1人」29.3%、「2人」51.2%、「3人」9.8%、「4人」2.4%となっている。

年齢の分布をみると「7～12歳」の割合が最も多く44.3%、子どもの在住状況では「日本で生まれた子ども」が84.3%という結果となった。

お子さんの人数	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1人	12	29.3	24	43.6
2人	21	51.2	28	50.9
3人	4	9.8	3	5.5
4人	1	2.4	-	-
無回答	3	7.3	-	-
計	41	100%	55	100%

お子さんの年齢	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
0歳～3歳	11	15.7	-	-
4歳～6歳	11	15.7	-	-
7歳～12歳	28	40.0	-	-
13歳～17歳	20	28.6	-	-
計	70	100%	-	-

お子さんの在住状況	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 日本で生まれた子ども	59	84.3	-	-
2 移住する前に生まれた子ども	11	15.7	-	-
計	70	100%	-	-

(18) 子育てで困っていること

子育てで困っていることの分布をみると「とくにない」と回答した人が66.7%で最も多く、平成29年度とほぼ同様の結果となった。

Q18 育児について以下のようなことで困っていることはありますか（複数回答）

育児での困りごと	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 子育ての悩みを相談できる相手がいない	4	7.5	5	9.1
2 子育ての情報が日本語なのでわかりにくい	3	5.7	2	3.6
3 子育てについて日本人の家族と 意見が合わない	5	9.4	2	3.6
4 同じように子育てをしている人と 知り合う機会がない	3	5.7	5	9.1
5 保健師や保育士などと コミュニケーションがとれない	3	5.7	1	1.8
6 その他	1	1.9	5	9.1
7 とくにない	40	75.5	33	60.0
無回答	1	1.9	4	7.3
計	60	113%	57	104%

(19) 子育て支援制度の利用経験

子育て支援制度の利用経験の分布をみると、「母子健康手帳」「児童手当・児童扶養手当」が並んで最も多く69.8%、次いで「乳幼児への予防接種」「乳幼児の健康診査、検査」の順で利用したことがあると回答している。

Q19 以下の制度を利用したことはありますか（複数回答）

利用した制度	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 母子健康手帳	37	69.8	43	78.2
2 妊産婦・新生児訪問指導	19	35.8	23	41.8
3 乳幼児への予防接種	36	67.9	37	67.3
4 乳幼児の健康診査、検査	34	64.2	34	61.8
5 児童手当・児童扶養手当	37	69.8	35	63.6
6 放課後児童クラブ	18	34.0	9	16.4
7 病児保育	2	3.8	1	1.8
8 子育て支援センター	10	18.9	8	14.5
9 乳幼児一時預かり	5	9.4	7	12.7
10 ファミリーサポートセンター	3	5.7	6	10.9
無回答	7	13.2	4	7.3
計	208	392%	207	376%

(20) 教育で困っていること

教育で困っていることの分布をみると「とくにない」と回答した人が66.0%で最も多く、平成29年度とほぼ同様の結果となった。

Q20 教育について、以下のようなことで困っていることはありますか（複数回答）

教育での困りごと	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 子どもが日本語がうまくできないので 授業が理解しにくい	2	3.8	2	3.6
2 子どもが学校になじまない	0		1	1.8
3 進路、進学について不安がある	7	13.2	4	7.3
4 子どもが外国人であることで差別を 受けていると感じる	5	9.4	8	14.5
5 言葉の違いなどから保護者と学校との 意思疎通がうまくいかない	3	5.7	2	3.6
6 保育所が近くにない	1	1.9	1	1.8
7 色々な費用が高い	6	11.3	9	16.8
8 その他	0	0.0	5	9.1
9 とくにない	35	66.0	29	52.7
無回答	6	11.3	4	7.3
計	65	123%	65	119%

社会生活一般

(21) 日本人との交流希望

今後の日本人との交流希望については「地域の行事にもっと参加したい」の割合が39.2%、次いで「いっしょにボランティア活動などの社会活動をしたい」が38.5%、平成29年度最も多かった「日本の文化や習慣を学びたい」の割合は35.8%と減少した。

Q21 あなたは今後、お住いの地域（市外に住んでいる人は、職場や周辺学校の地域）の日本人とどのような交流をしたいと思いますか（複数回答）

日本人との交流方法	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 地域の行事にもっと参加したい	58	39.2	63	38.0
2 いっしょにボランティア活動などの社会活動をしたい	57	38.5	59	35.5
3 日本人に母国の文化を紹介したい	33	22.3	49	29.5
4 日本の文化や習慣を学びたい	53	35.8	85	51.2
5 いっしょに食事や買い物に行きたい	28	18.9	43	25.9
6 家庭のことや子育てなどについて話し合いたい	25	16.9	32	19.3
7 その他	9	6.1	7	4.2
8 とくに交流したいとは思わない	27	18.2	28	16.9
無回答	11	7.4	17	10.2
計	301	203%	383	231%

(22) 名取市での生活は満足しているか

名取市での生活（暮らしや職場・学校）については、「とても満足している」が45.3%、続いて「やや満足している」が32.4%という回答となっている。

Q22 あなたは名取市での生活（暮らしや職場・学校）についてどのくらい満足していますか

名取市での生活の満足度	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 とても満足している	67	45.3	-	-
2 やや満足している	48	32.4	-	-
3 どちらともいえない	16	10.8	-	-
4 あまり満足していない	9	6.1	-	-
5 全く満足していない	4	2.7	-	-
無回答	4	2.7	-	-
計	148	100%	-	-

(23) 困っていること

現在生活上で困っていることについては、43.2%の人が「とくになし」と回答している。一方、困っていることがある人の中では「生活費用」13.5%、「日本語の理解」6.8%、「その他」においては、交通が不便という回答もあった。

Q23 あなたが現在、もっとも困っていることは何ですか

困りごと	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 子育て・教育	5	3.4	7	5.0
2 病気・けが	4	2.7	7	5.0
3 就職	6	4.1	4	2.9
4 仕事	3	2.0	5	3.6
5 生活費用	20	13.5	19	13.6
6 住宅	0	0.0	2	1.4
7 日本語の理解	10	6.8	18	12.9
8 家族との人間関係	0	0.0	1	0.7
9 家族に関する問題(1、8を除く)	1	0.7	0	0.0
10 友人・知人や近所の人との人間関係	2	1.4	5	3.6
11 その他	3	2.0	4	2.9
12 とくになし	64	43.2	68	48.6
無回答（複数選択）	30	20.3	43	30.7
計	148	100%	183	131%

(24) 相談先

困ったときの相談先では、人間関係・家族生活においては「母国出身の友人・知人」へ相談する割合が高く、文化習慣・仕事学業においては「近所の日本人の友人・知人」へ相談する割合が最も高い。

平成29年度と同様、前述の相談先が著しく高い割合となっている。

Q24 a～d のことで悩んだり、困ったりした場合、家族や親戚以外で
誰にまたはどこに相談をしていますか（複数回答）

a 人間関係	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 母国出身の友人・知人	56	37.8	92	50.3
2 近所の日本人の友人・知人	35	23.6	64	35.0
3 遠くの日本人の友人・知人	18	12.2	21	11.5
4 母国出身者や日本人以外の友人・知人	11	7.4	15	8.2
5 日本語教室の関係者	4	2.7	10	5.5
6 民間の相談所やボランティア団体	2	1.4	4	2.2
7 市役所や県庁などの窓口	2	1.4	10	5.5
8 宮城県国際化協会	0	0.0	2	1.1
9 自分で解決するので相談する必要がない	24	16.2	40	21.9
10 相談したいが相手がない	3	2.0	14	7.7
無回答	29	19.6	16	8.7
計	184	124%	288	158%

b 文化習慣	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 母国出身の友人・知人	30	20.3	56	30.6
2 近所の日本人の友人・知人	50	33.8	76	41.5
3 遠くの日本人の友人・知人	20	13.5	28	15.3
4 母国出身者や日本人以外の友人・知人	11	7.4	13	7.1
5 日本語教室の関係者	8	5.4	17	9.3
6 民間の相談所やボランティア団体	4	2.7	4	2.2
7 市役所や県庁などの窓口	4	2.7	9	4.9
8 宮城県国際化協会	5	3.4	1	0.5
9 自分で解決するので相談する必要がない	27	18.2	30	16.4
10 相談したいが相手がない	5	3.4	10	5.5
無回答	29	19.6	25	13.7
計	193	130%	269	147%

c 家族生活	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 母国出身の友人・知人	50	33.8	73	39.9
2 近所の日本人の友人・知人	27	18.2	51	27.9
3 遠くの日本人の友人・知人	18	12.2	23	12.6
4 母国出身者や日本人以外の友人・知人	15	10.1	10	5.5
5 日本語教室の関係者	5	3.4	4	2.2
6 民間の相談所やボランティア団体	4	2.7	6	3.3
7 市役所や県庁などの窓口	3	2.0	9	4.9
8 宮城県国際化協会	0	0.0	2	1.1
9 自分で解決するので相談する必要がない	29	19.6	48	26.2
10 相談したいが相手がない	2	1.4	11	6.0
無回答	29	19.6	25	13.7
計	182	123%	262	143%

d 仕事・学業	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 母国出身の友人・知人	44	29.7	70	38.3
2 近所の日本人の友人・知人	46	31.1	64	35.0
3 遠くの日本人の友人・知人	27	18.2	25	13.7
4 母国出身者や日本人以外の友人・知人	16	10.8	14	7.7
5 日本語教室の関係者	9	6.1	9	4.9
6 民間の相談所やボランティア団体	5	3.4	3	1.6
7 市役所や県庁などの窓口	8	5.4	9	4.9
8 宮城県国際化協会	3	2.0	3	1.6
9 自分で解決するので相談する必要がない	23	15.5	42	23.0
10 相談したいが相手がいない	2	1.4	9	4.9
無回答	29	19.6	26	14.2
計	212	143%	274	150%

(25) 社会活動

社会活動への参加および参加意向については、6つの活動のいずれについても「していないが、してみたい」と回答した人が最も多く、なかでも「母国出身者のために役立つ活動」に参加したいと思っている人が43.2%と高い割合となった。

Q25 あなたは仕事や学業の他に次のような社会活動をしていますか				
a している	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 母国語や母国文化を生かせる交流活動	23	15.5	27	14.8
2 自分の仕事や学業（専攻）を生かせる	20	13.5	19	10.4
3 特技や趣味を生かせる文化・スポーツ活動	22	14.9	18	9.8
4 住民として地域のために役立つ活動	20	13.5	19	10.4
5 福祉や国際協力などのボランティア活動	11	7.4	10	5.5
6 母国出身者のために役立つ活動	10	6.8	22	12.0
7 その他	3	2.0	2	1.1
計	109	73.6%	117	64%

b していないが、してみたい	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 母国語や母国文化を生かせる交流活動	47	31.8	76	41.5
2 自分の仕事や学業（専攻）を生かせる	49	33.1	78	42.6
3 特技や趣味を生かせる文化・スポーツ活動	53	35.8	80	43.7
4 住民として地域のために役立つ活動	58	39.2	87	47.5
5 福祉や国際協力などのボランティア活動	58	39.2	80	43.7
6 母国出身者のために役立つ活動	64	43.2	77	42.1
7 その他	6	4.1	6	3.3
計	335	226%	484	264%

c していないし、したいと思わない	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 母国語や母国文化を生かせる交流活動	44	29.7	53	29.0
2 自分の仕事や学業（専攻）を生かせる	42	28.4	57	31.1
3 特技や趣味を生かせる文化・スポーツ活動	37	25.0	52	28.4
4 住民として地域のために役立つ活動	38	25.7	51	27.9
5 福祉や国際協力などのボランティア活動	42	28.4	62	33.9
6 母国出身者のために役立つ活動	36	24.3	45	24.6
7 その他	22	14.9	16	8.7
計	261	176%	336	184%

d 無回答	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 母国語や母国文化を生かせる交流活動	34	23.0	27	14.8
2 自分の仕事や学業（専攻）を生かせる	37	25.0	29	15.8
3 特技や趣味を生かせる文化・スポーツ活動	36	24.3	33	18.0
4 住民として地域のために役立つ活動	32	21.6	26	14.2
5 福祉や国際協力などのボランティア活動	37	25.0	31	16.9
6 母国出身者のために役立つ活動	38	25.7	39	21.3
7 その他	117	79.1	159	86.9
計	331	224%	344	188%

防災

(26) 東日本大震災の被災経験

東日本大震災の被災経験では、43.9%の人が東日本大震災を経験したと回答している。また、同震災を経験した人の中で「名取市内で経験した」と回答した人が18.9%と最も高くなっているが、平成29年度と比較すると8.4%減少している。

Q26 あなたは、2011年3月11日の東日本大震災をどこで経験しましたか

震災経験場所	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 名取市内で経験した	28	18.9	50	27.3
2 名取市以外の宮城県内で経験した	21	14.2	24	13.1
3 他の都道府県内で経験した	16	10.8	23	12.6
4 日本にいなかった	71	48.0	75	41.0
無回答	12	8.1	11	6.0
計	148	100%	183	100%

(27) 地震発生後に起きた問題

地震発生から一ヶ月の間で起きた問題については、すべての問題のいずれも「まったくあてはまらない」「あまりあてはまらない」と回答した人の割合が合計60%以上で過半数を占め、「とてもあてはまる」「ややあてはまる」の割合は合計10%以下という結果となった。

Q27 地震発生から一ヶ月の間でどのような問題が起きましたか

a 他の人が話している言葉がわからなかったため、十分に情報を得られなかった

	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 とてもあてはまる	1	1.3	8	7.4
2 ややあてはまる	3	3.9	5	4.6
3 どちらともいえない	2	2.6	5	4.6
4 あまりあてはまらない	11	14.3	16	14.8
5 まったくあてはまらない	43	55.8	47	43.5
無回答	17	22.1	27	25.0
計	77	100%	108	100%

b 日本語の文字が読めなかったため、十分に情報を得られなかった

	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 とてもあてはまる	2	2.6	7	6.5
2 ややあてはまる	5	6.5	5	4.6
3 どちらともいえない	2	2.6	5	4.6
4 あまりあてはまらない	11	14.3	8	7.4
5 まったくあてはまらない	42	54.5	57	52.8
無回答	15	19.5	26	24.1
計	77	100%	108	100%

c あなたが外国人であることを理由に、周りの人から差別的な扱いを受けた

	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 とてもあてはまる	0	0.0	6	5.6
2 ややあてはまる	1	1.3	4	3.7
3 どちらともいえない	2	2.6	3	2.8
4 あまりあてはまらない	10	13.0	8	7.4
5 まったくあてはまらない	48	62.3	61	56.5
無回答	16	20.8	26	24.1
計	77	100%	108	100%

d その他

	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 とてもあてはまる	1	1.3	3	2.8
2 ややあてはまる	1	1.3	1	0.9
3 どちらともいえない	0	0.0	0	0
4 あまりあてはまらない	0	0.0	0	0
5 まったくあてはまらない	13	16.9	15	13.9
無回答	62	80.5	89	82.4
計	77	100%	108	100%

(28) 地震後に知りたい情報

地震発生から一ヶ月までの間に知りたかった情報については、「とくになかった」が29.7%と最も多く、次いで「ライフラインの復旧状況」8.1%、「津波の情報」6.1%の順となっている。

Q28 地震発生から一ヶ月の間でもっとも不足していた情報は何でしたか

不足していた情報	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 地震の情報	3	2.0	3	2.8
2 津波の情報	9	6.1	0	0
3 福島第一原子力発電所の事故の情報	6	4.1	13	12
4 どこに避難すればよいか	4	2.7	1	0.9
5 家族・友人の安否	7	4.7	7	6.5
6 出国の方法	3	2.0	0	0
7 ライフライン（電気・ガス・水道） の復旧状況	12	8.1	20	18.5
8 とくになかった	44	29.7	18	16.7
9 その他	3	2.0	2	1.9
無回答（複数回答）	57	38.5	44	40.7
計	148	100%	108	100%

(29) 災害への備え

災害への備えについては、「飲み水や食料・非常食を準備している」が45.3%と最も高く、次いで「避難に必要なものを準備している」41.9%、「家族との連絡方法を決めている」40.5%の順となり、平成29年度と比較してもほぼ同様の備えが上位を占めている。

Q29 あなたは現在、災害のために次のようなことをしていますか（複数回答）

災害への備え	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 家族との連絡方法を決めている	60	40.5	49	26.8
2 飲み水や食料・非常食を準備している	67	45.3	49	26.8
3 避難に必要なもの（携帯ラジオ、懐中電灯、薬、小銭など）を準備している	62	41.9	49	26.8
4 家具を固定して倒れないようにしている	47	31.8	34	18.6
5 防災訓練に参加している	37	25.0	24	13.1
6 その他していること	3	2.0	2	1.1
7 とくに何なにもしていない	33	22.3	22	12
無回答	1	0.7	78	42.6
計	310	209%	307	168%

行政

名取市役所を利用するうえで困ったことについては、「とくに困ることはない」と回答した人が63.5%と最も高い割合となっている。「その他」「無回答」を除く、困ったことがある人の割合は平成29年度と比較すると減少している。

Q30 名取市役所を利用するうえで、困ることは何ですか（複数回答）

市役所で困ること	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 どのようなサービスがどこで受けられるのかがわからない	20	13.5	34	18.6
2 施設の場所、利用時間などの情報が入手できない	6	4.1	11	6
3 窓口で言葉が通じない	8	5.4	17	9.3
4 書類の内容、書き方がわからない	19	12.8	23	12.6
5 色々な書類をそろえるのが難しい	18	12.2	27	14.8
6 とくに困ることはない	94	63.5	113	61.7
7 その他	17	11.5	5	2.7
無回答	4	2.7	14	7.7
計	186	126%	244	133%

(31) 充実してほしい行政情報

名取市行政に充実してほしい情報としては、「就職・雇用」と上げた人が25.7%と最も多く、次いで「年金」「通訳・翻訳などのボランティアに参加する方法」が19.6%と並んでいる。

平成29年度で最も割合が高かった「外国語で相談できる窓口」は減少している。

Q31 名取市が提供する情報のうち、不十分だと思う情報は何ですか（複数回答）

不十分な情報	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 就職・雇用	38	25.7	32	17.5
2 病院・医療	23	15.5	27	14.8
3 出産・育児	7	4.7	4	2.2
4 教育制度・学校	8	5.4	15	8.2
5 税金	27	18.2	28	15.3
6 健康保険	14	9.5	25	13.7
7 年金	29	19.6	26	14.2
8 事故や災害など緊急時の対応	22	14.9	23	12.6
9 在留資格、住民登録	15	10.1	14	7.7
10 公営住宅	7	4.7	7	3.8
11 公共交通機関	17	11.5	15	8.2
12 ごみの出し方	12	8.1	13	7.1
13 地域の日本語を学べる場所	26	17.6	30	16.4
14 外国語で相談できる窓口	21	14.2	38	20.8
15 通訳・翻訳などのボランティアに 参加する方法	29	19.6	23	12.6
16 地域でのイベント交流や祭り・町内会行事	26	17.6	35	19.1
17 介護	6	4.1	-	-
18 道路	7	4.7	-	-
19 公園	10	6.8	-	-
20 保育所	7	4.7	-	-
21 その他	11	7.4	16	8.7
無回答	27	18.2	38	20.8
計	389	263%	371	203%

(32) 充実してほしい行政サービス

充実してほしい行政サービスとしては、「外国籍住民の就職支援」を望む人が29.7%と最も高い割合となっている。次いで「外国籍住民が日本語や日本文化を学ぶための機会の提供」28.4%、「外国籍住民と日本人住民が交流する機会の拡大」27.0%の順となっている。

平成29年度と比較すると「外国語の相談窓口」「外国語の案内表示」の割合については減少している。

Q32 名取市の行政サービスが不十分だと思うことは何ですか。（いくつでも〇）

不十分な行政サービス	令和5年度		平成29年度	
	人	%	人	%
1 外国籍住民が日本語や日本文化を 学ぶための機会の提供	42	28.4	58	31.7
2 外国語の生活情報の提供	30	20.3	37	20.2
3 外国語の相談窓口	25	16.9	40	21.9
4 外国語の案内表示	25	16.9	40	21.9
5 子どもの教育における外国語サポートの充実	16	10.8	6	3.3
6 外国籍住民の就職支援	44	29.7	27	14.8
7 外国籍住民の住宅入居の支援	19	12.8	29	15.8
8 外国籍住民の意見を行政に生かす ための制度づくり	19	12.8	11	6.0
9 日本人住民の異文化理解の推進	26	17.6	30	16.4
10 日本人住民の外国語学習支援	21	14.2	15	8.2
11 外国籍住民と日本人住民が交流する機会の拡大	40	27.0	35	19.1
12 その他	14	9.5	6	3.3
無回答	30	20.3	44	24.0
計	351	237%	378	207%

Ⅲ アンケート調査票

なとりしがいこくじんじゅうみん ちょうさ きょうりやく ねが 名取市外国人住民ニーズ調査～アンケートご協力のお願い～

ひごころから、しせい すいしん りかい きょうりやく
日ごろから、市政の推進にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

このアンケートは、なとりしがいこくせきじゅうみん みなさま せいかつじつたい いしき はあく たぶんか
名取市が、外国籍住民の皆様の生活実態や意識を把握し、多文化
きょうせい しゃかいづく すす じっし ちょうさひょう なとりしな い す
共生の社会作りを進めるために実施するものです。この調査票は、名取市内にお住まい
の さいいじょう ねん がつ にちじてん さいいじょう がいこくせきじゅうみん かたぜんいん ゆうそう はいふ
の18歳以上（2023年4月2日時点で18歳以上）の外国籍住民の方全員に郵送で配布して
おります。また、しがい なとりし つうきん つうがく かた いちぶかいとう
市外から名取市に通勤・通学する方にも一部回答していただいています。
みな いけん こんご しゃかい やくだ かんが きょうりやく
皆さんのご意見を、今後の社会づくりに役立てたいと考えていますので、ご協力のほ
ど、よろしくお願いたします。

かいとう むきめい へんしん けっか とうけいしより
回答にあたりましては、無記名で返信していただき、その結果は統計処理されますので、
こじん めいわく めんどう たいへんきょうしゆく きょうりやく
個人に迷惑のかかることはありません。ご面倒をおかけし大変恐縮ですが、ご協力を
よろしくお願いたします。

2023年12月13日

なとりし
名取市

きにゆう ちょうさひょう へんしんようふうとう い がつ にち ゆうびん
ご記入の調査票は、返信用封筒に入れていただき、1月31日（水）までに郵便ポストに
とうかん きって
投函してください（切手はいりません）。

ちょうさひょう にほんごばん ちゅうごくご かんたいじ ほん かんこくごばん えいごばん さくせい
なお、調査票は日本語版のほか、中国語（簡体字）版、韓国語版、英語版を作成し、
かた もっと てき おも げんごばん そうふ
それぞれの方に最も適していると思われる言語版を送付しております。

かいとう にほんごばん がいこくごばん いっぽう しょう しょう ちょうさひょう
ご回答は日本語版、外国語版のどちらか一方を使用していただき、使用した調査票の
ていしゆつ
みを提出してください。

ちょうさ かん と あ う と ちょうさひょう げんご かいとう むづか ばあい
調査に関するお問い合わせや、受け取った調査票の言語では回答が難しい場合のご
そうだん か き れんらく
相談については、下記へご連絡ください。

れんらくさき へいじつ げつ きん ねが
【連絡先】平日（月～金） 9：00～17：00 にお願いたします。

なとりしやくしょ きかくぶ みりよくそうせいか こくさいこうりゆう こうほうかり
名取市役所 企画部 なとりの魅力創生課 国際交流・広報係
でんわばんごう
電話番号 022-724-7143 Email:voice@city.natori.miyagi.jp

I. あなたご自身についてお聞きします

Q1 あなたの国籍・地域は次のどれですか。(ひとつに○)

- 1 ベトナム 2 中国 3 韓国 4 ネパール 5 フィリピン 6 インドネシア
 7 タイ 8 スリランカ 9 朝鮮 10 カンボジア 11 ブラジル 12 カナダ
 13 その他 (国名)

Q2 あなたの性別を教えてください。(ひとつに○)

- 1 男 2 女 3 その他

Q3 現在、あなたは何歳ですか。

- 1 ~19歳 2 20歳~29歳 3 30歳~39歳 4 40歳~49歳 5 50歳~59歳
 6 60歳~69歳 7 70歳~79歳 8 80歳~

Q4 現在、どなたと同居していますか。

あてはまる方すべての番号に○をつけ、それぞれ()の中に人数を記入してください。

- 1 夫・妻・パートナー 2 子ども()人 3 父親・母親()人 4 祖父母()人
 5 孫()人 6 その他の親族()人 7 友人・知人()人 8 一人暮らし

Q5 あなたの在留資格は次のどれですか。(ひとつに○)

- 1 留学 2 永住者 3 特別永住者 4 家族滞在 5 日本人の配偶者等
 6 技能実習 7 教授 8 人文知識・国際業務 9 定住者 10 教育
 11 技術 12 研修 13 特定活動 14 その他()

Q6 現在、あなたは名取市に住んでいますか。(ひとつに○)

- 1 名取市に住んでいる 2 名取市に住んでいないが、市外から名取市に通勤・通学している
 3 その他()

II 日本語についてお聞きします

Q7 あなたの日本語力は、次のどれにあたりますか。(a~d 各項目ひとつずつに○)

	十分にできる	だいたいできる	あまりできない	全くできない
a 話すこと	1	2	3	4
b 聞くこと	1	2	3	4
c 読むこと	1	2	3	4
d 書くこと	1	2	3	4

Q8 日本語は必要だと思いますか。(いくつでも○)

- 1 現在の仕事・勉強をしていくために必要
- 2 希望する仕事を見つけるために必要
- 3 日常生活のために必要
- 4 日本人とつきあうために必要
- 5 日本に永住するために必要
- 6 母国語で暮らせるので、必要ない
- 7 いずれ帰国するので必要ない
- 8 その他(具体的に:)

Q9 現在、あなたは日本語を勉強していますか。(ひとつに○)

1. 現在、勉強している
2. 現在は勉強していないが、できれば勉強したい
3. 現在は勉強していないし、勉強するつもりもない

Q10 (Q9で1、2に○を付けた人)

現在、市では名取市で生活している人のための日本語講座を月曜日に開講しています。

あなたが、日本語講座を開講してほしい日時はありますか。(いくつでも○)

- 1 平日の午前
- 2 平日の午後1時～5時
- 3 平日の午後5時以降
- 4 土・日曜日の午前
- 5 土・日曜日の午後1時～5時
- 6 土・日曜の午後5時以降

Ⅲ 生活に必要な情報についてお聞きします

Q11 あなたは、生活に必要な情報をどこから得ていますか。(いくつでも○)

- 1 外国籍住民向け相談窓口(みやぎ外国人相談センターや市町村窓口等)
- 2 テレビ
- 3 ラジオ
- 4 新聞・雑誌
- 5 パソコンを使用したインターネット
- 6 携帯電話を使用したインターネット
- 7 職場・学校
- 8 家族
- 9 日本人の友人・知人
- 10 母国出身の友人・知人
- 11 近所の日本人、町内会の回覧
- 12 ボランティア団体
- 13 母国の大使館・領事館
- 14 名取市の広報紙
- 15 名取市のホームページ
- 16 その他(具体的に:)
- 17 入手する方法がない

Ⅳ 医療・福祉についてお聞きします

⇒名取市外に住んでいる人は Q14 へ

Q12 以下のサービスを利用したことがありますか。(いくつでも○)

- 1 名取市の健康診断
- 2 名取市の各種がん検診
- 3 名取市の健康相談
- 4 名取市の「こころの相談」
- 5 休日・時間外の診療機関
- 6 外国語で診療可能な医療機関
- 7 介護保険サービス
- 8 名取市内の医療機関
- 9 宮城県の救急電話相談

Q13 あなたが病気になって名取市内の病院に行くときに困ったことはありますか。(いくつでも○)

- 1 外国語が通じる病院を利用したいがどこにあるかわからない
- 2 休日・夜間に利用できる病院がどこにあるかわからない
- 3 医師や看護師と言葉が通じない
- 4 日本語の書類・案内が理解できない
- 5 とくに困っていることはない
- 6 その他(具体的に:)

Q14 日本で救急車を呼ぶときの電話番号(119)を知っていますか。

- 1 はい
- 2 いいえ

Q15 日本で火災になった場合または火災を発見した場合に消防車を呼ぶ電話番号(119)を知っていますか。

- 1 はい
- 2 いいえ

Q16 名取市で救急車を利用したことがある方、利用しようと思ったことがある方にお聞きます。

→それ以外の方は Q17 へ

以下のようなことで困ったことはありますか。(いくつでも○)

- 1 救急隊員や 119番受け付け者と言葉が通じない
- 2 救急車を呼んでいいのかが分からない
- 3 病院へ行く交通手段が分からない
- 4 場所の説明ができない
- 5 とくに困ったことはない
- 6 その他(具体的に:)

V 育児・教育についてお聞きます

→現在18歳未満のお子さんがいない人、または名取市外に住んでいる人は Q21 へ

Q17 お子さんの年齢と、日本での在住状況について教えてください。

	現在の年齢	日本で生まれた お子さんに○	日本に移住したお子さんは、 移住してきたときの年齢
1人目	歳		歳
2人目	歳		歳
3人目	歳		歳
4人目	歳		歳

Q18 育児について、以下のようなことで困っていることはありますか。(いくつかでも○)

- 1 子育てに関する悩みを相談できる相手がいない
- 2 子育てに関する情報が日本語なのでわかりにくい
- 3 子育てについて日本人の家族と意見が合わない
- 4 同じように子育てをしている人と知り合う機会がない
- 5 保健師や保育士などとコミュニケーションがとれない
- 6 その他(具体的に:)
- 7 とくにない

Q19 以下の制度を利用したことはありますか。(いくつかでも○)

- | | | |
|------------------|---------------|-------------|
| 1 母子健康手帳 | 2 妊産婦・新生児訪問指導 | 3 乳幼児への予防接種 |
| 4 乳幼児の健康診査、検査 | 5 児童手当・児童扶養手当 | 6 放課後児童クラブ |
| 7 病児保育 | 8 子育て支援センター | 9 乳幼児一時預かり |
| 10 ファミリーサポートセンター | | |

Q20 教育について、以下のようなことで困っていることはありますか。(いくつかでも○)

- 1 子どもが日本語がうまくできないので授業が理解しにくい
- 2 子どもが学校になじまない
- 3 進路、進学について不安がある
- 4 子どもが外国人であることで差別を受けていると感じる
- 5 言葉の違いなどから、保護者と学校との意思疎通がうまくいかない
- 6 保育所が近くにない
- 7 色々な費用が高い
- 8 その他(具体的に:)
- 9 とくにない

VI 社会生活一般についてお聞きします

Q21 あなたは今後、お住いの地域(市外に住んでいる人は、職場や学校周辺の地域)の日本人とどのような交流をしたいと思いますか。(いくつかでも○)

- 1 地域の行事にもっと参加したい
- 2 いっしょにボランティア活動などの社会活動をしたい
- 3 日本人に母国の文化を紹介したい
- 4 日本の文化や習慣を学びたい
- 5 いっしょに食事や買い物に行きたい
- 6 家庭のことや子育てなどについて話し合いたい
- 7 その他(具体的に:)
- 8 とくに交流したいとは思わない

→名取市では、ホストファミリーや日本語指導、通訳・翻訳、文化紹介などでお手伝いをしてくださる「名取市国際交流ボランティア」を募集しています。
詳しくは市ホームページをご覧ください。

市ホームページ



Q22 あなたは名取市での生活(暮らしや職場・学校)についてどのくらい満足していますか。(ひとつに○)

- 1 .とても満足している 2. やや満足している 3 どちらともいえない
4 あまり満足していない 5 全く満足していない

Q23 あなたが現在、もっとも困っていることは何ですか。(ひとつに○)

- 1 子育て・教育 2 病気・けが 3 就職 4 仕事
5 生活費用 6 住宅 7 日本語の理解 8 家族との人間関係
9 家族に関する問題(1、8を除く) 10 友人・知人や近所の人との人間関係
11 その他(具体的に:) 12 とくになし

Q24 a～d のことで悩んだり、困ったりした場合、家族や親戚以外で、誰にまたはどこに相談をしていますか。(いくつでも○)

相談する人、組織	困ったり悩んだりしたとき			
	a 人間関係	b 文化習慣	c 家族生活	d 仕事/学業
1 母国出身の友人・知人				
2 近所の日本人の友人・知人				
3 遠くの日本人の友人・知人				
4 母国出身者や日本人以外の友人・知人				
5 日本語教室の関係者				
6 民間の相談所やボランティア団体				
7 市役所や県庁などの窓口				
8 宮城県国際化協会				
9 自分で解決するので相談する必要がない				
10 相談したいが相手がない				

Q25 あなたは、仕事や学業の他に次のような社会活動をしていますか。(a～g それぞれにひとつ○)

	している	していないが、 してみたい	していないし、 したいと思わない
a 母国語や母国文化を生かせる交流活動	1	2	3
b 自分の仕事や学業(専攻)を生かせる 交流活動	1	2	3
c 特技や趣味を生かせる文化・スポーツ活動	1	2	3
d 住民として地域のために役立つ活動	1	2	3
e 福祉や国際協力などのボランティア活動	1	2	3
f 母国出身者のために役立つ活動	1	2	3
g その他 具体的に:	1	2	3

Ⅶ 災害についてお聞きします

Q26 あなたは、2011年3月11日の東日本大震災をどこで経験しましたか。(ひとつに○)

1. 名取市内で経験した
2. 名取市以外の宮城県内で経験した
3. 他の都道府県内で経験した
4. 日本にいなかった→Q28へ

Q27 地震発生から一ヶ月の間でどのような問題が起こりましたか。(a～d それぞれにひとつ○)

	とてもあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
a 他人が話している言葉がわからなかったため、十分に情報を得られなかった	1	2	3	4	5
b 日本語の文字が読めなかったため、十分に情報を得られなかった	1	2	3	4	5
c あなたが外国人であることを理由に、周りの人から差別的な扱いを受けた	1	2	3	4	5
d その他具体的に:	1	2	3	4	5

Q28 地震発生から一ヶ月の間でもっとも不足していた情報は何でしたか。(ひとつに○)

- 1 地震の情報
- 2 津波の情報
- 3 福島第一原子力発電所の事故の情報
- 4 どこに避難すればよいか
- 5 家族・友人の安否
- 6 出国の方法
- 7 ライフライン(電気・ガス・水道)の復旧状況
- 8 とくになかった
- 9 その他(具体的に:)

Q29 あなたは現在、災害のために次のようなことをしていますか。(いくつでも○)

- 1 家族との連絡方法を決めている
- 2 飲み水や食料・非常食を準備している
- 3 避難に必要なもの(携帯ラジオ、懐中電灯、薬、小銭など)を準備している
- 4 家具を固定して倒れないようにしている
- 5 防災訓練に参加している
- 6 その他していること()
- 7 とくに何もしていない

Ⅷ 名取市の行政についてお聞きします

Q30 名取市役所を利用するうえで、困ることは何ですか。(いくつかでも○)

- 1 どのようなサービスがどこで受けられるのかがわからない
- 2 施設の場所、利用時間などの情報が入手できない
- 3 窓口で言葉が通じない
- 4 書類の内容、書き方がわからない
- 5 色々な書類をそろえるのが難しい
- 6 とくに困ることはない
- 7 その他(具体的に:)

Q31 名取市が提供する情報のうち、不十分だと思う情報は何か。(いくつかでも○)

- 1 就職・雇用
- 2 病院・医療
- 3 出産・育児
- 4 教育制度・学校
- 5 税金
- 6 健康保険
- 7 年金
- 8 事故や災害など緊急時の対応
- 9 在留資格、住民登録
- 10 公営住宅
- 11 公共交通機関
- 12 ごみの出し方
- 13 地域の日本語を学べる場所
- 14 外国語で相談できる窓口
- 15 通訳・翻訳などのボランティアに参加する方法
- 16 地域での交流イベントや祭り・町内会行事
- 17 介護
- 18 道路
- 19 公園
- 20 保育所
- 21 その他(具体的に:)

Q32 名取市の行政サービスが不十分だと思うことは何ですか。(いくつかでも○)

- 1 外国籍住民が日本語や日本文化を学ぶための機会の提供
- 2 外国語の生活情報の提供
- 3 外国語の相談窓口
- 4 外国語の案内表示
- 5 子どもの教育における外国語サポートの充実
- 6 外国籍住民の就職支援
- 7 外国籍住民の住宅入居の支援
- 8 外国籍住民の意見を行政に生かすための制度づくり
- 9 日本人住民の異文化理解の推進
- 10 日本人住民の外国語学習支援
- 11 外国籍住民と日本人住民が交流する機会の拡大
- 12 その他(具体的に:)

→名取市には「名取市外国人市民相談」の窓口があります。

普段の生活の中で困っていることや、
市役所での手続きなど、お気軽にご相談ください。
詳しくは市ホームページをご覧ください。

市ホームページ



アンケート調査へのご協力ありがとうございました